

自由民主党嚆矢会視察日程

■7月2日（月）9時30分～

網走市「スポーツ大会・合宿の誘致について」

視察場所：呼人^{よびん}スポーツトレーニングフィールド

網走市字呼人705番地の2

待ち合わせ場所：センターハウス前（センターハウス前の駐車場を利用）

- ・休みのところを開けていただいている。
- ・座学後、グラウンドやウェイトトレーニングルームを見せてもらえる

■7月3日（火）10時00分～11時30分

釧路市「道の駅 阿寒丹頂の里について」

視察場所：道の駅 阿寒丹頂の里

釧路市阿寒町上阿寒23線36番地1（国道240号沿い）

待ち合わせ場所：赤いベレーという建物の中のフロント前のソファ

■7月4日（水）9時30分～11時00分

帯広市「①帯広まちなか歩行者天国（ホコテン）について

②冬のまちなかを彩るイルミネーションの取り組みについて」

視察場所：帯広市役所

待ち合わせ場所：市役所1階の総合案内（市役所南側駐車場を利用）

⇒前日の実行委員会

18：00～ホコテン実行委員会

18：30～実務的な会議

20：00～懇親会

※市役所南側駐車場と実行委員会会場については別添のとおりです。

平成30年7月2日 北海道網走市

視察項目 「スポーツ大会・合宿の誘致について」

所感 網走市は面積 471 km²人口 35,974 人氣象は1年を通じて晴天が多く、降雨量降雪量が少なく寒暖差も少ない北海道東部としては比較的温暖な気候である。

産業では1次産業の農産物生産額が約 111 億円、畜産物が約 208 億円、漁獲高が 124 億円、水産加工額が約 187 億円、2次産業の製造品出荷額が約 490 億円、商業販売額が約 467 億円と農林水産業がかなりのウェイトを占めている。

さて今回の視察の主目的のスポーツ大会・合宿の誘致についてであるが、「網走市呼人（よびと）スポーツトレーニングフィールド」は平成2年に供用開始した施設で面積 38.7 ha（東京ドーム9個分）事業費 36 億円（起債 27.5 億円、道補助 2 億円、一般財源 6.5 億円）施設概要 ラグビー場 1 面、サッカー場 2 面、多目的広場 4 面（ラグビー・サッカーで利用可能）の計 7 面のフィールド、テニスコート 16 面、アーチェリー場 14 的、ランニングコース、ローラースケート場、ゴーカートコース、おもしろ自転車コース、パークゴルフ場、幼児公園、センターハウス、駐車場 4 個と広大な敷地に整った管理がされたしせつであった。延利用者数は、平成 25 年度 60,763 名 平成 26 年度 59,612 名 平成 27 年度 54,416 名 平成 28 年度 64,075 名 平成 29 年度 54,144 名と推移している。担当は網走市役所社会教育部スポーツ課（株）日専連オホーツク網走が指定管理者として運営しているが、投げっぱなしのどこかの市とは違って市の担当が深くかかわっている。合宿で利用される主なスポーツ施設は、このスポーツトレーニングフィールドの他市総合体育館、市陸上競技場、

市民健康プール、ランニングコース等で、実績は平成 29 年度 実人員 1,985 人 ②
延 17,348 泊、経済効果 6 億 4400 万円である。合宿誘致活動として各種大会に
出向き、主要チームに誘致活動を展開していて ①東日本実業団陸上競技選手権
5 月 ②ゴールデンゲームズ in 延岡 5 月 ③全日本実業団陸上競技選手権大会
9 月 ④東日本実業団対抗駅伝競走大会 11 月 ⑤ジャパンラグビートップリーグ
決勝 1 月 活動予算は平成 30 年度 950 万円（市補助金）受け入れ内容は
① 航空券・宿泊・レンタカーの斡旋、仲介 ②トレーニング施設のスケジュール
調整 ③女満別空港⇄ホテル間送迎の手配及び経費負担 ④ホテル⇄練習会場間の
送迎の手配及び経費負担 ⑤練習会場使用料の免除 ⑥地場産品の差し入れ等で
今年のイベントは、ホクレンレディスタンスチャレンジ網走大会、オホーツクラグ
ビーフェスティバル in 網走 サントリー VS トヨタ、神戸製鋼 VS リコー
コカ・コーラ VS NTTドコモ 本田 VS NECと日本のトップアスリー
トやチームが参加している。また女満別空港への送迎は 950 万の市補助金とは別に
300 万円を公費計上している。こうした誘致成功の秘訣は、かゆいところに手が届
くきめ細かなサービスと最高の施設維持で利用者が金を掛けてもこの施設を使いた
いと思ってくれるように最善の環境を整えている、ここまで順調に推移しているの
ではと思ったが、「たまたまうまくいった」といわれたが、岩本次長の個人的な力が
かなり大きいと思う、ラグビーの全日本の監督を務めた向井監督と大学の同級で昭
和 59 年から 30 数年間担当している経験コロコロ人事異動をしている周南市では、
こういったスペシャリストは育たない、是非周南市の担当者にも現地に行って欲し
いものだ。

視察項目 「道の駅阿寒丹頂の里について」

所感 釧路市は平成17年10月11日釧路市、阿寒町、音別町が合併して新生「釧路市」が誕生。面積1,363km²人口173,305人と道内では4番目の人口で面積は周南市の約2倍と広大な市域である。産業は農林水産業とそれに関連する食品加工業、製紙、石炭鉱業そして観光業を柱として発展し、物流を支える「港」「空港」

「鉄道」「道路」が整備されている。さて道の駅阿寒丹頂の里は、まりも国道と呼ばれるR240号沿いに位置し、北に阿寒摩周湖国立公園、東に釧路湿原国立公園があり、アクセスは空港、阿寒IC、釧路駅、阿寒温泉からそれぞれ車で40分と利便性の高い道の駅と説明を受けたが、距離感が北海道感覚で車で100kmくらいは当たり前で山口人とは距離感がかなりかけ離れているが北海道には実際に車で走ってみると直線道が2~4kmは続き信号がほとんど無いので100kmの道のりが1時間30分くらいの時間で着く。道の駅が122ヶ所ありここは平成8年4月道内30番目にオープンし広さは道内1で21.3ha（東京ドーム4.5倍）もあり施設として、阿寒国際ツルセンター、日帰り温泉、キャンプ場、パークゴルフ、レクレーション農園、釧路湿原美術館、特産品販売所を併せ持つ複合的観光施設で、フードでは地場産品（阿寒ポーク、阿寒モルト牛、エゾ鹿肉、フィッシュ&チップス、パプリカ等）にこだわった食材を使った地産地消がセールスポイントである。また野菜収穫シーズン（6~9月）は新鮮な地元野菜を道の駅で販売しているが、流石に北の国冬場は雪で山口のように通年での野菜販売はできない。来場者数はH27年26万人、28年38万人、29年64万人と大きく伸びている要因は、28年3月に道東自動車道の開通と28年

7月に道を挟んだ当時JAの販売所をメイン施設がある今の場所へクレインテラス④として特産品販売所「阿寒マルシェ」を12月にリニューアルオープンしたことが大きい、運営は指定管理者として(株)阿寒観光公社が担っていて指定期間はH27~31迄の5年間で指定管理料は年間3,800万円職員体制は釧路市嘱託職員1名を含む42名である、売り上げの推移は宿泊施設があり、27年度 来場者数258千人、142百万円、28年度来場者数379千人、190百万円、29年度来場者数641千人、244百万円と右肩上がりであるが、収支は非常に厳しいとのことであった、本音のところを〇きいてみたら、指定管理料が一定で、管理料が余ったら市へ返還しなければならなく従業員の昇給ができず職員のモチベーションが上がらない、これは周南市の国民宿舎等の指定管理者と同様の根の深い問題である。

〇

視察項目 帯広まちなか歩行者天国（オビヒロホコテン）について

所感 帯広市は面積 619.34 km²人口 169,327 人北海道で 6 番目の人口を擁する都市だが、4・5 番目の釧路市、苫小牧市とは 5,000 人の差しかない。また地勢は穏やかに傾斜する十勝平野の中心に位置し市域の 60%は平坦で市街地面積は 16.5%で基幹産業の畑作や酪農の農村地帯が大部分を占めている。農業は専業農家が多く、大型機械を導入した生産性の高い大規模経営を展開している。商業やサービス業の第 3 次産業も盛んで東北海道の商業機能の集積地でもある。農業生産額は 322 億円で耕作が 224 億円、酪農が 98 億円となっている。商業の商品販売額は 6,316 億円とかなりの数値である。それでは今回の視察目的のオビヒロホコテンであるが、第 2 期帯広市中心市街地活性化基本計画の事業で区域は 140ha あり主な立地施設は JR 帯広駅、バスターミナル、駅北に官公庁、総合病院、百貨店、商店街、飲食店が集積し、駅南に大型スーパー、図書館、生涯学習施設、文化施設が集積している、その中の駅北にある商店街での取り組みである、中心市街地の現状は居住人口が昭和 30 年に 16,000 人→平成 29 年 2,765 人、歩行者数が昭和 50 年平日 60,000 人休日 76,000 人→平成 29 年平日 8,800 人 13,500 人と大きく減少。店舗数は平成 6 年 568 店舗→平成 26 年 207 店舗。年間販売額平成 6 年 878 億円→平成 26 年 357 億円と店舗数の減少に伴い売り上げも約 3 分の 2 まで減少している。さらに地価は平成 5 年の 1 m² 130 万円が 29 年には 10 分の 1 以下の 11 万円と周南市の中心市街地並の衰退である。第 1 期の中心市街地活性化基本計画（平成 19 年 8 月～24 年 4 月）とそれ以前を含めた取り組みは、線路の立体交差、駅周辺区画整理、街路整備、駅北多目的広場整

備、駅北地下駐車場整備と基本計画以前事業。基本計画で市民ギャラリー整備、⑥
広小路アーケード再生、まちなか歩行者天国、まちなか移住プラットフォーム設置等
で、市民ギャラリー、アーケード、まちなか歩行者天国は目標値を達成したが居住
施設事業は「リーマン・ショック」等でクリアできず第1期計画後残された課題は、
商業機能の衰退として、休日の歩行者数は増加したが、大型空き店舗の再生は実現
せず、総店舗数の減少、「魅力と賑わいがある」という市民実感度が低水準、店舗の
商品やサービスに魅力が乏しいとの指摘、イベントによる休日の賑わいに加え、個
店の魅力向上など、商業機能の充実が必要等の課題をあげているが、きついかもしれ
ないがここまでの施策は一言でいうなら金ばかり使って成果は得られず失敗で
あったと思うが周南市も全く帯広と一緒である、ただ行政はこれを失敗だとは認め
ないだろう、そこが行政職員のいたらなさや責任を負わない行政の課題である。帯
広市は性懲りもなく第1期の課題を基に「第2期中心市街地活性化基本計画（平成
25年4月～32年3月）」を策定している。はたして32年3月検証結果がでる9月
頃に再訪問して確認してみたいものだ。ただしまちなか歩行者天国事業については、
非常にすばらしいものであった。歩行者天国実施に至る経緯は、平成13年2月アン
ケートで要望として「買い物の合間に休憩できる場所」「通りすがりに休める場所」
その対策として道路管理者・交通管理者と協議（特に警察との協議は難航）歩行
者天国構想としてかつては、まちなかにはコミュニティがあった、かつてはそこに
人と人との触れ合いがあった、かつては生活の場であった道路、それらを取り戻す
ことを構想としている。歩行者天国実施に至る経緯は、平成18年4月実行委員会設
立そしてわずか2ヶ月後の6月18日には第1回の歩行者天国を開催している。

イベント内容は大体全国各地でおこなわれているものが多いが、大きく違う点は⑦
地元帯広市内の市民団体や市立帯広北高校の学園祭の一貫で全校生徒参加の市中パ
レードや道内からの参加者が多数であることである、そういった参加者が家族や知
人等を誘導し人出の増に大きく貢献している、またよくある飲食の出店を数年前か
ら禁止して、商店街の中にある飲食店の利用を促している、実行委員会は最初のう
ちはイベントに自ら参加していたが、現在は参加希望者が多く、そのコーディネイ
トがもっぱら主な業務になっている、ここまでもってくるのはかなりの努力と労力
○がかかったことだと思う、現在は年間予算 530 万円内訳は市からの補助金 200 万円
(今年から 180 万円に減額) 残りは協賛金で賄っていて、毎年 6 月から毎週の日曜
日に 12 回歩行者天国を実施している(冬場は寒さで開催できない、そこで冬場対策
としてイルミネーション事業実施) 実行委員会設立後 2 ヶ月で実施とか、毎週実施
とか周南市では考えられない事をしていることが不思議でならなかったが、その要
因は実行委員会のメンバーに市役所、会議所、商店主がほとんどいなくて、設計事
○務所の経営者、農業従事者、主婦等一般市民がほとんどで、会議の為の会議、会議
だけで終わる会議ではなく、毎週実のある具体的な会議を重ねそれも完ぺきなボラ
ンティアで、特に商店主がいないのが利益ばかりの発想にならないのが最高の秘訣
ではないかと思った、今回は前夜の実行委員会の会議に参加し、その後の懇親会に
も参加し、翌日の本視察と普段市の担当者からの説明だけだったものが、現場の生
の声を聞けて最良の視察となった。

平成 30 年 7 月 2 日

北海道網走市社会教育部スポーツ課

尾崎隆則

網走市は、明治 5 年北見国網走郡の呼称が定まり、網走村の名が与えられ、北見 4 郡（斜里・網走・常呂・紋別）の中心地として開拓使根室支庁網走出張所の所在地となる。

市制施行は昭和 22 年 2 月 11 日である。

オホーツク海に面し、一年を通じて晴天が多く、降雪量は少ない北海道東部としては比較的温暖な気候である。冬期の特殊現象として流氷が到来する。

網走スポーツトレーニングフィールドについて

施設の概要

ラグビー場 1 面・サッカー場 2 面・多目的広場 4 面・テニスコート 16 面・アーチェリー場 14 的・ランニングコース・ローラースケート場・ゴーカートコース・おもしろ自転車コース・パークゴルフ場・幼児公園・センターハウス 1 棟・駐車場 4 ケ所。

用地面積 38,7ha（東京ドーム 9 ケ分）

事業費 36 億円（起債 27,5 億円・道補助金 2 億円・一般財源 6,5 億

円)

管理運営 平成 20 年度から応募、プロポーザルによる指定管理者制度を導入 14,792 千円

芝生管理は別途委託 41,415 千円

使用料収入 6,560 千円

利用者数 平成 25 年度 60,763 名

平成 26 年度 59,612 名

平成 27 年度 54,416 名

平成 28 年度 64,075 名

平成 29 年度 54,144 名

この施設は東日本実業団の陸上やラグビーなどの合宿地として活用されている。

所感

広大な土地で多くの企業や民間人のスポーツ合宿地として、年間を通じ 5 万人以上の集客力は大したものだ。

施設の利用料は 650 万円とわずかなものだが、経済効果は 6 億 4 千万円と合宿誘致活動の成果がよく表れている。

周南市でも陸上競技場の整備は、周ニャン市プロジェクトを見直し、思いきった施策に方向転換すべきである。

視察報告 平成30年7月3日 尾崎隆則

「道の駅 阿寒丹頂の里」

釧路市の概要

平成17年11月 釧路市・阿寒町・音別町が合併して新生「釧路市」が誕生。当時の人口は17万3,305人道内では4番目・面積は1,363Km² 道内で3番目の広さ。

阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園の二つの国立公園を擁する自然豊かな地域である。

経済は、農業・林業・水産業の一次産業とそれに関連する食品加工業・製紙・石炭鉱業・観光業を柱として発展し物流を支えている。

「道の駅 阿寒丹頂の里」

概要

① 道内最大級の広さを有し、複合的な観光施設が集合した自然の中のレジャーエリアとして、1年を通じて観光客が訪れる。

東京ドームの約4,5個分・阿寒国際ツルセンター・日帰り温泉・

キャンプ場・パークゴルフ・レクレーション農園・釧路湿原美術館・

特産品販売所等を併せ持つ複合的観光施設園

② フード 地場産品（阿寒パーク・阿寒モルト牛・エゾ鹿肉・フィッシュ&チップス・パプリカ）などにこだわった食材を使った地産地消がセールスポイント。

野菜収穫シーズン（6月～9月）には新鮮な地元野菜を道の駅で販売している。

③ 来場者数

平成27年度＝約26万人

平成28年度＝約38万人

平成29年度＝約64万人

所感

なんといっても土地の広さに感銘する。広大な施設の中で維持管理がきちんとできている。周南市ではとても太刀打ちできない。

食についてはなじめないと感じた。

北海道はプライベートでゆっくり観光を楽しみたい。

視察報告 平成30年7月4日 北海道帯広市

帯広まちなか歩行者天国（オビヒロホコテン）について

尾崎隆則

車社会の進展、経済成長による市街地拡大・大型店・学校・病院等の郊外移転など、いろいろな要因の影響で、「まちなか」の空洞化が見られるようになった。

中心市街地には、商業機能やさまざまな都市機能が集まっているので、これらの市民共通の財産を無駄にすることなく、有効活用していくことが求められている。このようなことから、計画期間を

平成19年8月～平成24年3月までとし、第1期帯広市中心市街地活性化基本計画を策定「国の認定（道内初）」

「主な実施事業」

- * 市民ギャラリー整備事業
- * 広小路商店街アーケード再生等事業
- * 帯広まちなか歩行者天国（オビヒロホコテン）事業
- * まちなか居住プラットフォーム設置事業

「成果」

- ・市民ギャラリー整備事業（平成20年度）実施

市民ギャラリーを始めとする活動拠点施設の利用率が上昇し、計画で定めた目標値をクリア。

・ 広小路商店街アーケード再生等事業（平成23年度）実施
一新されたアーケード空間を活用し、足型パネル事業や様々な事業などを展開。

・ 帯広まちなか歩行者天国事業を始めとする、ソフト事業の実施
年間10万人を超える来街者を呼ぶイベントとして定着した。

所感

まちなか歩行者天国事業は大成功の事業だと感じた。

市街地の中を歩行者天国にする経緯は、平成13年のアンケートでの要望として、「買物の合間に休憩できる場所」・「通りすがりに休める場所」その対策として、道路管理者、交通管理者との協議（警察との協議は難航）は辛抱強くねばり、実行委員会を設置してわずか2ヶ月後の6月には、第1回目の歩行者天国を開催した。

冬季は積雪でイベントが出来ないため、6月～9月までの毎週日曜日にいろんなイベントを開催し、中心市街地の賑わいに大きく貢献している。本市の職員も視察に行ったらよくわかる。

7月2日(月) 糸川市

No. 1

・スポーツ大会、合宿の誘致について
(視察場所 呼人スポーツトレーニングフィールド)

石谷 幸男

当日は休みであったが施設を開けていた。後、教育委員会社会教育部
工藤議長の歓迎のあいさつ。次長岩本博隆氏が説明を丁寧に行われ、
この施設は市の施設で指定管理者によって管理
運営されている。指定管理者は(株)日専連オホシク興走

●であり、H20年度からのことである。

指定管理料は14,792千円 児童管理は別委託で

14ha 41,415千円 である。

収入は使用料からH29年度で6,560千円とされている。

利用者数はH25年度60,763名 H26年度59,612名

H27年度54,416名 H28年度64,075名 H29年度

54,144名との状況である。

H63~H44年度54年計画、H45~H8年度にパーク・コート
トイル等投てき練習場をH19年度に建設

事業費は36億円(起債27.5億円 道補助2億円

一般財源6.5億円) 用地面積38.7ha(東京ドーム約9個分)

ラグビー場1面 サッカー場2面 ラグビーサッカーに使える多目的
広場4面 他 テニス、アーチェリー ランニングコースや

パークゴルフ 子供連れの幼児公園 ゴーカートコースなど

多くの施設。そして馬場4ヶ所と整備されている。

H29年度は1,985人 延べ17,348泊 経済効果

1.98倍で644,251千円の試算をしている

各種大会に出席し合宿誘致活動をし、羽田空港への

送迎は100%行っているとのこと。JAL、ANAや国の支援も

あり、業務を年間予算950万でこなしているとのことであった。

○ 周南市とは施設規模や環境も大きく異なるが、
 考え方としてスポーツコンベンションのあり方と施設を
 いかように考えるのかホテルなどホテル的な宿泊施設
 の誘致も含め取り組みを考えるべきと思う。
 周南市の緑地公園の施設改善も当然ながら是直しと
 すべきであろう。網走市はスポーツ課は教育部局
 である。周南市では市長部局へ移管したか単に
 市長の権限を強化しようとしたことだけのようだが、
 ある。その連携を密にばかれば済むことだと思える。
 ○ コンベンションシティを標榜するのであれば周南市は
 しっかりと取り組みを強化しなければならない。
 体協に単なる施設運営管理を委託するのはよく
 大会合宿の誘致に下まぐぬれる状況もあって
 いかんではないか。

スポーツ関係全体の合宿大会の条件は
 施設、交通、宿、予算の条件が必要である
 といこと、もちろん基本は人材である。

○ 説明者は入庁以来この担当に当たり長年取り組ん
 でおりその人脈経験は後進にもよい影響を
 与えていることであろう。高校時代野球部に
 あり南陽工業高等学校 津田恒美投手と戦った
 球が、連中との話もあり、何やらこころを感した。
 いふれにしても津田恒美メモリアル球場の活用を
 含め周南市は根本的に取り組み方針をすべてに
 ついて是直す必要を強く感じた。

7月3日(火) 釧路市

・道の駅阿寒町頂の里について.

古谷 幸男

道内で4番目の人口で17万3千人 全 面積1363km²と国南市より約2倍の面積である.

道の駅は 国道240号沿いに位置しており国道と呼はれている. 東に釧路湿原 国立公園. 北に

阿寒摩周湖 国立公園がある. 空港. 阿寒IC.

○釧路駅. から車で約40分と利便性の高い道の駅である. 道内で30番目にオープンしたとは道内12/3km² 東京ドーム4.5倍ある.

阿寒国際センター. 日帰り温泉 キャンプ場
パークゴルフ レクリエーション農園 釧路湿原美術館
特産品 販売所と複合的観光施設まで

地場産品にこだわり地元食材を使った地産

○地消が特徴となっている. 来場者はH27 26万人 H28 35万人 H29 64万人と大きく伸びている. この要因は道東自動車 南道と特産品販売所

「阿寒ミルミ」をリニューアルオープンしたことが大きい.

しかし経営は厳しく指定管理料斗年3800万円が一定となっており余剰があれば返すという仕組みが職員や客をなくしている可能性もあり

経営の安定化につながっていないと思われる.

少しもつたという感じはぬくもりのない.

7月4日(木)

の

帯広まちなか歩行者天国 (ペーパーストリート)について 石坂 幸男

第2期帯広市中心市街地活性化基本計画の事業で区域は140haである。JR帯広駅バスターミナル駅北に官公庁 総合病院 百貨店 商店街 飲食店が集積し駅南に大型スーパー 図書館 生涯学習施設 文化施設が集積している中の駅北にある商店街での取り組みである。

- 830年～850年とH29年の歩行者数は約 5 程度減少している。店舗数はH6年 568店舗からH26年 207店舗と半減以下になっている。当然売り上げもH6年 878億からH26年 357億と20年間で約60%あまり減少している。

- 第1期計画・取り組み後課題は休日の歩行者は増加しなか販売力が増加するような大型店舗の再生は実現せず商業機能の再生とまではいかなかった。このため第1期の課題に取り組むため第2期の策定をしているもののH32年末までの検証結果からでは94%と。果に成果はいかなるものか少々興味がある。多額の予算・予算を投入しているか本当に市民の利便性や買物などの課題を解決できるのかと思ひをえるをえぬい。

今回の視察は前夜の民由文等の実行委員会
の会議に参加しその後懇親会にも参加し生の
声を聞くことができた。非常によかつたし
有意義であった。しかし、商店街やまちのわに
イベントで人を集めることによって購買力かどうに
するかに集めるのか、なんのために大きな予算を
使うのか、まちのわの賑わいの再生は目的は
何か、取り組み方やあり方をいま一度検証
しなければならぬ。時ではあるのか、